

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

安曇野市

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	松林健全化推進事業の補助対象外の松くい虫被害防除等病害虫防除の取組【松くい虫防除対策事業】
事業費	2,493,192 円	(うち支援金： 2,479,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当市では、松くい虫被害の拡大により、平成 25 年度には過去最高の 8,817 m³の被害量となった。その後、若干被害量は減ったものの、依然 8,000 m³前後の高水準で被害が続いている。被害は森林エリアだけではなく平地（庭木等）にまで広がっている。

(2) 本事業の目的

個人庭園等の松枯死木（健全木を含む）の伐倒駆除経費に対して補助金を交付し、市全体の健全な松の保全や被害蔓延防止を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 安曇野市内

(2) 対象者 市内の松を所有する者

(3) 実施方法 市内の個人庭園松や地域神社林で松枯損木と松健全木両方の松を同時に伐倒処理した経費に対して 3 分の 1 以内の補助金を交付する。実績補助とし実績報告により補助金を交付する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（平成 30～令和 4 年度）松枯損木伐倒処理：年間処理本数 500 本を想定

②令和 3 年度実績 全体計画の内本事業対応分として、健全木を含む松枯れ処理 191 本



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

松くい虫被害の抑制及び拡大防止

(2) 継続性

松くい虫被害が今後も想定されるため、被害の拡大防止の観点からも継続が必要である。

(3) 普及性

被害の蔓延防止と、倒木等による二次被害の防止及び景観の維持を図ることで事業効果を伝える。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

松枯損木及び隣接する松健全木の処理をすることで、松くい虫被害の蔓延防止と倒木による二次被害の防止が図られ、市民生活の安心・安全を確保することができた。

(2) 課題

松くい虫被害の拡大により、松枯損木の処理の増加が見込まれ、市民への補助制度の見直しも必要になっている。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

松くい虫被害も継続的に発生していることから、今後も事業を継続したい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

安曇野市

No.	事業項目	事業名
2	森林を支える豊かな地域づくり	地域住民との協働による森林作り活動の推進 【安曇野市里山再生計画推進事業】
事業費	82,500 円	(うち支援金: 82,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

里山は、人々が長い年月にわたり利用し続けたことによって、成り立ってきました。しかし、私たちの生活スタイルの変化などに伴い、里山を利用することが少なくなりました。その結果、里山には様々な問題(鳥獣被害、里山荒廃等)が生じています。

(2) 本事業の目的

里山再生計画では、人々が今の生活スタイルにあった里山を利用する取組として、里山の資源を利用、里山での活動推進、里山荒廃・鳥獣被害の減少を、具体的な 4 つのプロジェクトにより、現在の里山でおきている課題の解決につなげていきます。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 安曇野市内

(2) 対象者 安曇野市内で活動する市民、事業者等

(3) 実施方法 具体的な 4 つのプロジェクトにより里山での取組を実施する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 27～令和 6 年度)

安曇野市里山再生計画(第 2 次)(令和 2 年度～令和 6 年度)

②令和 3 年度実績: 具体的な 4 つのプロジェクトにより取組を実施



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

本事業により、里山を身近に感じる機会を増やし、里山への関心を高め、里山で活動する地域住民等が増える。

(2) 継続性

令和2年3月に策定された「安曇野市里山再生計画」のなかの具体的な取組みであり、安曇野市として計画を継続的に推進している。

(3) 普及性

本事業は、市民等と行う協働の取組として実施されており、各プロジェクトの取組により市民等へ浸透していく。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

「令和3年度さとぶろ。学校」では受講生8名に対して全6回の講座を実施した。里山活動の入口として、様々なフィールドや市民グループの取組を見学したほか、里山整備の技術を体験し里山への理解を深めた。修了後に市民グループで里山整備活動を続ける受講生もおり、里山で活動する地域住民の増加につながった。

(2) 課題

より多く受講生を募りたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和2年3月に策定された「安曇野市里山再生計画」のなかの具体的な取組みであり、今後も事業を継続したい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

安曇野市

No.	事業項目	事業名
2	森林を支える豊かな地域づくり	地域住民との協働による森林作り活動の推進 【光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト】
事業費		39,600 円 (うち支援金: 36,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

桜の名所として知られる光城山は、山林所有者や地元区、市民活動団体の保全活動により、豊かな自然環境が守り育てられてきました。

しかし、近年では桜の老木化、外来植物の侵入による周辺の自然環境の変化により、森林としての機能が低下しています。

(2) 本事業の目的

魅力ある地域の資源である「光城山」を後世に引継ぐため、桜の植樹活動を通じた「市民と行政の協働の推進」「市の一体感の醸成」を目的とします。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 安曇野市 豊科 光 (光城山)

(2) 対象者 山林所有者、地元区民、一般市民

(3) 実施方法 桜の植樹活動

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度) 桜植栽本数 700 本 (H26～R2 まで植栽実績 660 本)

②令和 3 年度実績 桜の植樹 20 本



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

桜の植樹活動を通じた「市民と行政の協働の推進」「市の一体感の醸成」が生まれ、植樹による健全な森林機能の発揮が期待される。

(2) 継続性

市民と行政の協働による「光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト」により実施されており、今後も継続的に植樹や管理が行われていく。

(3) 普及性

光城山は、市民等の憩いの場として、また健康増進の場として多くの人が訪れる場所であり、市民との協働事業として行われる本事業は、多くの方に目に見える形となる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

「光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト」が 11 月 6 日に実施され、21 名の参加により、桜苗木 20 本が植栽された。桜の植樹を通じ、健全な森林づくりが図られ、市民との協働による一体感が生まれている。

(2) 課題

桜の管理を継続的に維持するため、地域を巻き込んだ市民との協働事業の継続的な実施。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

市民と行政の協働により実施されており、今後も継続的に植樹や管理を行っていく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)